

トマトの難防除害虫防除資材の効果確認

農場の概要

- ・地域 春日部市増戸地区
- ・対象作物 トマト（品種：「りんか409」サカタ（台木：「アシスト」サカタ）

導入した資材等

- ・コナジラミ類成虫忌避剤「ベミデタッチ」 ※使用回数に制限がなく、有用生物に影響が少ない

導入の目的・ねらい

難防除害虫であるコナジラミ類について、新たな防除資材の使用効果を確認しトマト部会全体へ情報提供することで、トマト黄化葉巻病被害の軽減につなげる。

試験概要

試験区：5 a（農薬散布＋ベミデタッチ）

対照区：3 a（農薬散布のみの区）

定植：10月14日 収穫開始：1月13日～

処理日：1回目：11月22日 2回目：11月29日

3回目：12月6日 4回目：12月15日

※7日間隔で連続散布（葉裏にむらなく薬剤散布）

調査内容：①固定株にてコナジラミの寄生数を調査

②黄色粘着板によるコナジラミの捕虫数を調査

③トマト黄化葉巻病の発生株数を調査



導入資材：ベミデタッチ

結果概要

今回は定植後からの使用という形で試験を行っており、ほ場内でのコナジラミ類の発生を抑えることを目的とした。

結果は、10月の定植後からコナジラミ類がハウスで散見されており薬剤防除を徹底していたが、本忌避剤散布後は徐々にコナジラミ類の発生が見られなくなった。

12月以降は全体的に虫の発生が減少していたこともあり、2月の調査時も試験区、対照区ともコナジラミ類の発生は確認されなかった。

今後は気温の上昇とともにコナジラミ類の発生が予想されるので、ハウスの側窓の換気が始まる時期に合わせて2回目の忌避剤散布を予定している。効果については、随時確認を行い、結果は部会に対して情報提供を行っていく予定。

生産者コメント

散布前は少し飛んでいたもので、いなくなってホッとしている。前作では被害が大きかったので、しっかり防除したい。

今回は育苗時の使用ができなかったもので、次作では育苗時からベミデタッチを使用して、コナジラミ類を徹底的に防除したい。

問合せ先

春日部農林振興センター 電話048-737-6311



表1:固定株数調査結果

調査日	試験区 (固定株 調査)	対照区 (固定株調 査)
11月19日 (処理前)	2.4	2.2
12月24日	1.1	0.8
1月16日	0	0
1月30日	0	0
2月20日	0	0

固定調査：10株の固定株を調査し平均した

表2：黄色粘着板調査結果数

調査日	試験区 (黄色粘着 板捕虫数)	対照区 (黄色粘着 板捕虫数)
11月19日 (処理前)	3	4
12月24日	0	0
1月16日	0	0
1月30日	0	0
2月20日	1	0

